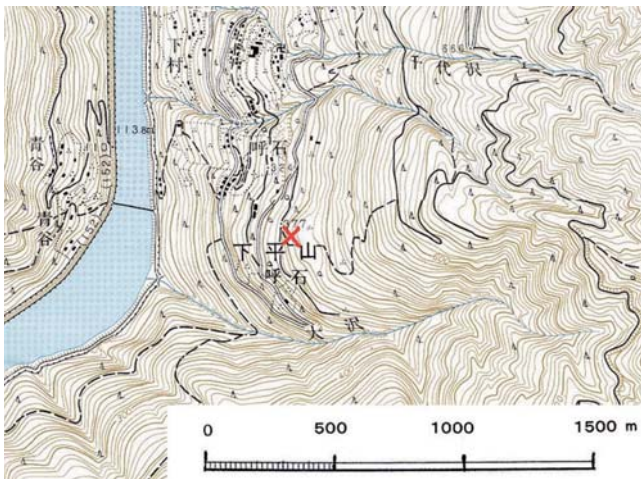


W013 峰之沢鉦山跡(静岡県GEO DATA(6) :  
地学散歩(85))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 国雄 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00024704">https://doi.org/10.14945/00024704</a>

## W013 峰之沢鉱山跡



国土地理院 1 : 25,000 地形図 秋葉山

峰之沢鉱山跡は浜松市龍山町下平山、標高約 400 m の斜面にあり、天竜川に沿う国道から東に少し離れている。かつて数百人もの人が働いていた面影はなく、辺りは野鳥のさえずりが響き渡っている。峰之沢の鉱床は久根の鉱床と同じ三波川変成帯の層状含銅硫化鉄鉱床で、1969 年に閉山となるまで主に銅を産出していた。

全景の写真は、天竜川を挟む対岸の青谷地区から峰之沢鉱山跡を写した物で、中央には廃虚になった 2 棟 (24 軒) の社宅アパートと、比較的新しい鉄塔が見える。鉄塔の側に、坑口 (坑道の入口) がある。坑道の長さは、入口から東西方向に 2 km にも及んだ。坑口では写真のように、常に無色透明の地下水が湧き出ている。佐久間町の久根鉱山のような中和作業は不要である。長年にわたり鉱山跡を見守ってきた管理人が、今も坑口の近くに居住している。 (加藤国雄)



